

大野油竹 あしのあき 俳人。明治五年十一月十九日熊本縣生れ、大正二年十月十一日没（八七—一九三）。本名豊夫。別號油竹子、油竹庵、鯨丸等。東京帝國大學醫科大學卒業後、日本橋、醫院副業。在學中の二十七年田岡嶺雲、佐々醒雪等と筑波會を興し、翌年角田竹冷、尾崎紅葉等の秋聲會にも加はる。俳書の蒐集にも有名。

著書 『與謝蕪村』（明治二十年九月二十六日春陽堂）、『鬼貫全集』

（編、明治二十一年五月）『下』『百春陽堂』、『美文巖下滴泉』（合著

・石橋愛人郎編、明治二十二年九月十八日大學館「名家文庫」）、『夏

爐冬扇（附録花の下路）』（合著・松田寅熊編、明治二十四年六月）

十四日俳聲發行所「俳聲叢書」）、石河積翠園著『芭蕉句選年考』全

二冊（沼波環音共校訂、上卷・明治四十四年九月五日、下卷・十、二月

十日文成社）等。

